

令和5年（2023年）2月14日

保護者各位

葉山町立葉山小学校

校長 安達 禎崇

令和4年度 学校評価（教職員自己評価）結果のお知らせ

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に大きなご支援・ご協力を頂いており、感謝申し上げます。学校では今、各学年が今年度の学習のまとめを行ったり、卒業式・入学式に向けての準備を進めたりしているところです。

さて、この度「令和4年度 学校評価（教職員自己評価）」を実施し、その結果を取りまとめましたのでご報告いたします。

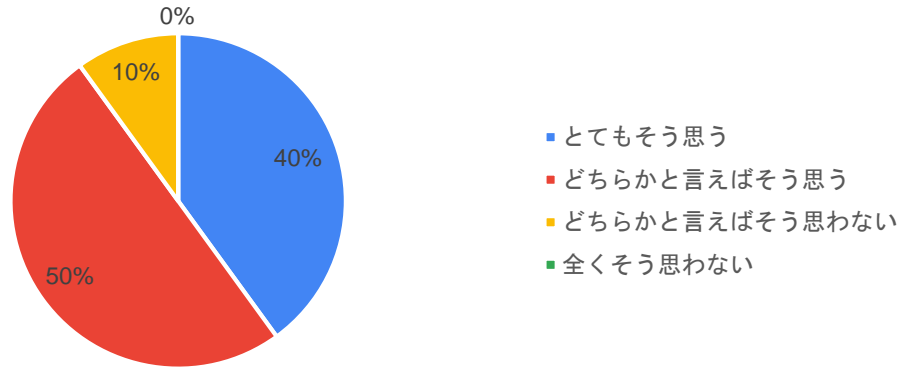
これは今年度の「学校運営方針」に基づいて設定した評価項目について、昨年2・4年生の保護者の皆様にご協力いただきました、アンケートの結果も参考にさせていただき教職員が自己評価を行ったものです。

保護者の皆様の評価（評定）や、いただいたご意見につきましては真摯に受け止め、今後の教育活動及び学校経営に活かしてまいります。

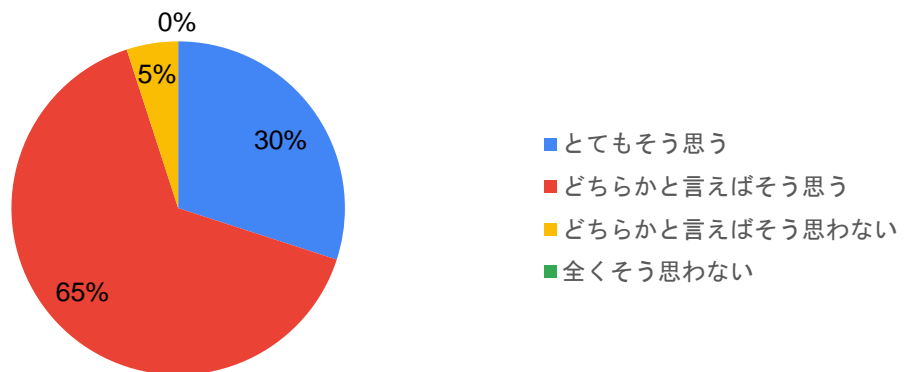
尚、来年度（令和5年度）より、保護者アンケートは全学年の保護者の皆様が対象に実施する予定ですので、ご協力をお願いいたします。

「学校評価に関する保護者アンケート」集計結果

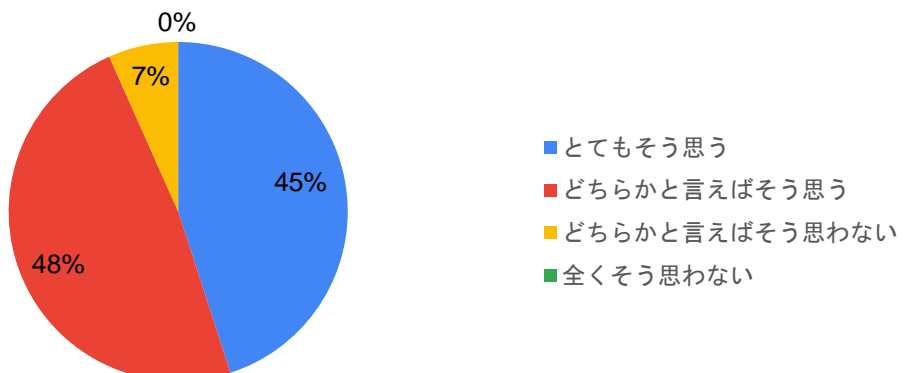
1、葉山小で学んで良かったと思える学校



2、組織的に学校運営を推進する学校



3、保護者・地域から信頼される学校



「保護者アンケート自由記述のまとめ」と学校の見解(⇒印)

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。自由記述に書かれていたものの中で、全体に関わる以下の内容について掲載及び、回答させていただきます。

1, 葉山小で学んで良かったと思える学校

- ① いつも生徒を第一にした教育や支援を行っていることに、生徒の親としてとても感謝している。
- ② 春の海への遠足や、蚕やお米を実際に育てたりして、6年かけて「葉山を知る」授業が多い。また、あそびまつりやハッピータイムなど、他学年とつながる授業も多く、葉山小学校に通えてよかった。
- ③ 授業参観でも子どもたちがのびのびと発言していて、まわりが自分の発言を受け入れてくれる安心感がある。
- ④ 運動会の司会進行、遠足のしおり作り、レクの計画などなど、本当は先生方がやった方が早いことを、子供たちに挑戦させてくださっている点が、ありがたいです。
- ⑤ 2年生の親で、コロナ禍での学校生活しか知りません。早く元の生活に戻って子どもの楽しみが増えるといいなと思います。

⇒葉山の豊かな自然の中で、自己肯定感を高め、主体的に学び行動する児童の育成を目指し、これからも保護者の皆さまのご協力をいただきながら教職員一同、努力してまいります。

- ⑥ 廊下に飾られていた1年生(朝顔)2年生(ひまわり)の絵が、ほぼ全て同じような構図、色使いで個性が感じられず驚いた。みんなと「同じ」ように描くよう指導されているのでしょうか？それぞれの子供の感性は違うはずなので、子供達が創造力を発揮し、自由な発想で自分が良いと思ったものを自信を持って描き、それをお互い認めて合えるような環境であるといいなと思った。(図工だけでなく)。

⇒子どもたちが個々の感性や想像力を豊かに働かせて表現したり、鑑賞したりすることはとても大切なことです。また、その力を発揮するためには一斉指導により、基本的な知識や技能を育てることも大切です。それぞれの学年の目標を達成するためにバランスよく学習をすすめていきたいと考えています。

2, 組織的に学校運営を推進する学校

- ① つまずきを持つ生徒に対し、早くからきめ細かく対応しているように感じる。一方、高学年になるにつれ、不登校の生徒が目立つように思う。担任の負担が重く

なっていないか気がかりだ。生徒のフォローアップは親と担任だけでなく、第三者も含めて連携しているのか知りたい。

⇒未来ある子ども一人一人が前を向いて進めるよう、今、何が必要か、どんな支援が、どんな手立てが必要かを、担任だけでなく学年や養護教諭、教育相談コーディネーター、学校全体として協議し、SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)、町のこども育成課や医療機関等含めた専門機関と連携しながら、保護者の方と話し合い、ともに考えるようにしております。

3、保護者・地域から信頼される学校

① 子どもが毎日帰宅後、学校での出来事を話しますが、色んな先生の名前が出てきます。担任の先生だけではなく、他の先生方もたくさん声かけをして下さったり、見守って下さっているのだと感謝しております。

② 学級担任や現状の教科担任に加え、副担任や図工専科の先生もいらっしゃるありがたい。

③ 4年生で実施している算数の少人数授業がとても良いです。

⇒教職員の定数は法令で定められています。その中で学校としても、できるだけ多くの教師の目で一人ひとりの児童を見たいと考え、高学年で一部教科担任制を実施する等の工夫をしています。

④ 地域や保護者から意見を聞く体制が整えられているか疑問です。例えば学校のメールアドレスや意見箱などがあると、考えや思いをお伝えし易いと思っています。

⇒システム上の問題で難しい面があります。ご意見等は今後とも連絡帳、または直接お電話にてお寄せいただければ幸いです。

その他

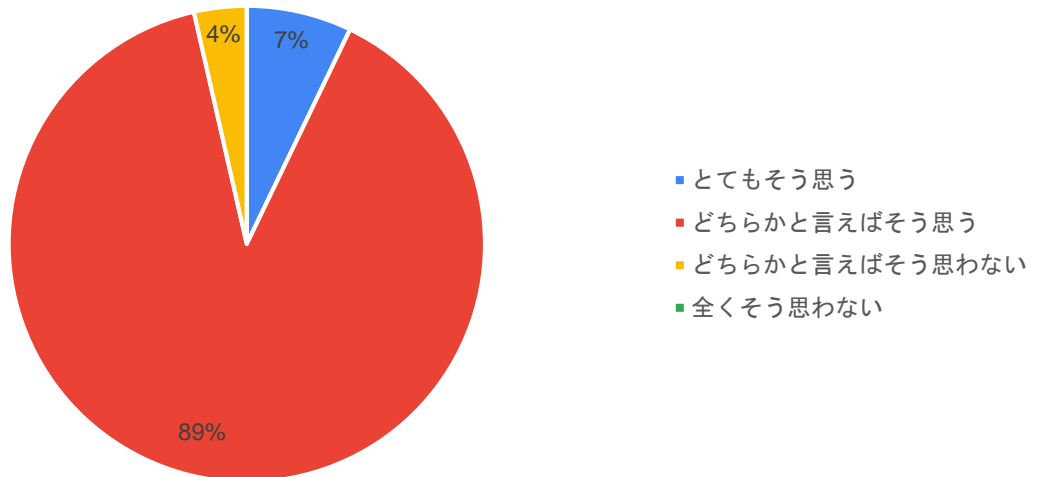
① 家に帰って来て子供が自分で何かを考え実行している大切な時間は少なく限られている。宿題はいらないと思います。

⇒家庭学習は、保護者の責任によって行われるものであり、保護者が何をすべきかを選択することはおっしゃる通りだと思います。一方で、学校での学習時間には限りがあり、計算練習などの反復学習や発展学習などを宿題として出しています。さらに、具体的に何をすべきか示して欲しいと、宿題を望む声が多いことも事実です。

学校評価(教職員自己評価)

1. 葉山小は

「児童が学んで良かったと思える学校」か。



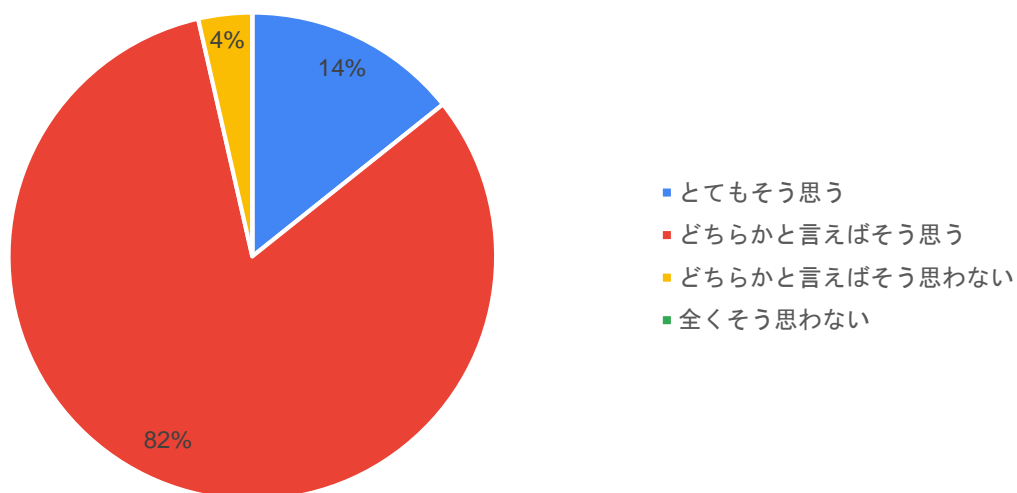
<考察～学校の良さや課題・今後の改善方策等～>

自然のフィールドを生かした学習や体験活動を取り入れているところが葉山小の良さの一つと言える。子どもたちにとっては行事も多く、自由で楽しいことがたくさんある学校だと思われるが、けじめのなさについては課題が残る。

「できるだけ児童に寄り添う学級経営を心がけている」という意識の教員が多く、学習状況調査児童質問紙の結果によると、子どもたちの自己肯定感是全国・全県と比較して圧倒的に高い。しかし、まだまだ友達のことを思いやれないような発言なども聞かれるため、継続的な児童指導や道徳教育の充実等は必要と思われる。

また、児童が主体的に学ぶ授業づくりは、学校にとって欠かせない課題である。今年度は「ICTを効果的に活用した授業づくり」をテーマに校内研究に取り組み、ICTの授業への活用が大幅に進み、児童の学習への興味・関心を高めることができた。今後はICTの活用のみならず、引き続き校内研究等を通して各教員が授業力向上を目指し研鑽していくつもりである。

2. 葉山小は 「組織的に学校運営を推進する学校」か。



<考察～学校の良さや課題・今後の改善方策等～>

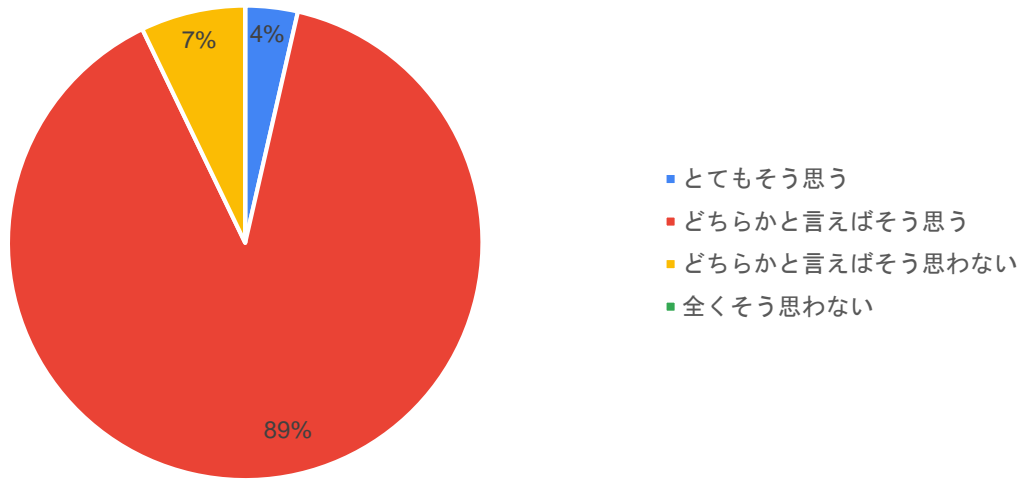
「教員同士仲がよく、比較的話しやすい環境なので、全体で動いたり考えたりする事ができていると感じる」「学年や※グループで協力していると思う」「規模は大きいですが、常に連携を取りながら進めていると思う」等の意見が教員間から多く聞かれる。

また、「※グループ制が機能しており、他の学年とも交流している」「※グループ制が進み、以前に比べて自分に割り振られている仕事が明確になり、取り組みやすくなったと感じる」等、新しく動き出した校務分掌組織についての自己評価も高い。

教員同士のコミュニケーション、※グループ制、連携体制といった組織的運営は概ね良い方向で進んでいると思うが、まだまだ発展途上であり、より充実させていく必要がある。

(※)教職員の校務分掌機構を改革する取組です。

3. 葉山小は、 「保護者・地域から信頼される学校」か。



<考察～学校の良さや課題・今後の改善方策等～>

学校と家庭はクルマの両輪のように常に連携していきたいと考える。一人ひとりの児童の個性や特性を踏まえた配慮や支援を行うためには、保護者との連携・協力が欠かせない。学校としては保護者への連絡や情報共有について、できる限り行っているつもりだが、今後もより充実させていく必要がある。

保護者アンケートからは「子どもが帰宅後、学校での出来事を話すが、色んな先生の名前が出てくる。担任だけでなく、他の先生方もたくさん声かけをしてくれ、見守ってくれていると思う」や「算数の少人数授業がとても良い」など、多くの教師の目で育てられることに期待があり、そこから信頼も生まれてくると感じる。

一部教科担任制の導入など、多くの目で育てる指導の在り方も含めて、検討して行きたい。

「令和4年度 学校評価結果のお知らせ」は以上です。
お目通しください、ありがとうございました。

